

(様式)

令和8年度 女子ソフトテニス 部の指導方針等について

令和8年4月24日

1 指導体制

| 顧問教諭氏名 | | 外部指導員氏名 | 資格等や経験 | 頻度 |
|--------|-------|---------|--------------------------|-----|
| 主顧問 | 金子 藍子 | 飯田 和徳 | 教員免許、中学校での外部指導員 | 週2回 |
| 副顧問 | 加藤 正紀 | 渡辺 常雄 | 教員免許、本校ソフトテニス部顧問歴あり | 月1回 |
| 副顧問 | 水崎 大輔 | 加藤 尚也 | 本校卒業生 (R4 度卒業) | 週1回 |
| | | 関根 諒太 | JSPO-AT、東京ガスや明治大学等のトレーナー | 月2回 |

2 年間目標

- (1)活動を通して、生徒の自立心や責任感を育み、達成感を味わわせつつ、主体的に取り組ませ、ルールやマナーを守らせ、より活力のある学校づくりを推進する。
- (2)関東大会、インターハイ東京都予選会において上位入賞を果たし東京都代表としての出場権を獲得する。

3 指導方針

- (1)常に学生の本分である勉強の定着を徹底させ、文武両道の定着、挨拶、正しい言葉遣い、活動ができる感謝等を身に付けさせ、他の生徒の模範となるようにしていく。
- (2)技術面と精神面の両面から鍛錬していく。生徒自身が自主的に課題解決に向けて行動するよう主体性を育む。さらにチームとして行動していく中で、協調性や責任感を育ませていく。

4 指導内容・方法

- (1)体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2)生徒間の暴力禁止
学年関係なく、選手同士の間での暴力、また言葉の暴力を未然に防ぐため、生徒と顧問間のコミュニケーションを日頃から密にとる。SNSの利用についてもミーティング等で指導し、いじめの要因とならないよう、徹底させる。
- (3)外部指導員の活用
部員の数が多く、力も様々なため習熟度に応じた指導などを行う際に技術指導をしていただく。

5 主な年間計画

| 学 期 | 月 | 内 容 | |
|------|------|---|-----------|
| 1 学期 | 4 | 多摩地区大会（団体） 生徒会部活動紹介・一斉部会 関東大会予選（個人） | |
| | 5 | 関東大会予選（団体） インターハイ予選（個人） | |
| | 6 | 関東大会 インターハイ予選（団体） 国民スポーツ大会予選 | |
| | 7 | 国民スポーツ大会予選 インターハイ | |
| | 8 | 合同練習試合（長野県） 新人大会 | |
| | 2 学期 | 9 | 国公立大会（団体） |
| | | 11 | 新進大会 |
| 12 | | インドア大会 | |
| 3 学期 | 1 | 関東選抜大会 | |
| | 2 | シングルス大会 | |
| | 3 | 国公立大会（個人） | |

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。